

公開講座 (京都)

教育現場でしましょう

お金のはなし

これからの金融教育

開催日 **8月20日(月)**

参加申込締め切り **7月27日(金)**

主催：京都大学経済学部、東京学芸大学、
みずほフィナンシャルグループ

後援：文部科学省
京都府教育委員会、京都市教育委員会、
大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、
滋賀県教育委員会、奈良県教育委員会

対象：全国の小・中・高等学校教員、大学生、その他関心のある方

2007年8月20日(月) 午後1時30分から5時まで
京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール
京都府京都市左京区吉田本町

参加申し込み：参加無料。(但し、先着順)
裏面の申し込み用紙で、事前にお申し込みください。

今日、子どもたちの「お金」に対する見方・考え方は大きく変わりつつあります。携帯電話で簡単に支払いができたり、インターネットで手軽に株取引もできたりと、ともすると金銭感覚が希薄になっていくように見受けられます。また、お金さえあれば何でも買えるという拝金主義的な考え方が吹聴され、健全な勤労観が欠如し、子どもたちはお金を稼ぐことをゲーム的に考えてしまうようになっていないでしょうか？

子どもたちに、お金とはどのような意味をもっているのか、これからの自分たちの人生や生きていく社会の中でしっかりとらえさせる必要があります。そのために、お金の本当の大切さを、家庭のみならず、学校でもきちんと教えていくことが、今まさに求められています。

東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループによる金融教育共同研究プロジェクトは、今回、京都大学経済学部の協力を得て、今、なぜ、学校現場で金融教育が必要なのかを問い直し、実践的な授業づくりの取組みを通して、金融教育のあるべき姿を、皆さんと一っしょに考えてみたいと思います。

公開講座の主な内容

開講挨拶 13:30～13:35

森棟公夫 (京都大学経済学部長)

来賓挨拶 13:35～13:40

佐野 太 (文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課長)

「いまなぜ金融教育が必要なのか」 13:40～13:55

久保田慶一 (東京学芸大学教授)

金融教育に関する授業解説 (社会科) 13:55～14:45

大澤克美 (東京学芸大学准教授)

休憩時間 14:45～15:10

金融教育に関する授業解説 (家庭科) 15:10～16:00

田中敬文 (東京学芸大学准教授)

質疑応答 16:00～16:20

道徳教育へのアプローチ 16:20～16:40

山名 淳 (東京学芸大学准教授)

特別支援教育へのアプローチ 16:40～16:55

渡邊直子 (みずほフィナンシャルグループ コーポレート・コミュニケーション部)

まとめと終講挨拶 16:55～17:00

長谷川貞夫 (東京学芸大学教授)

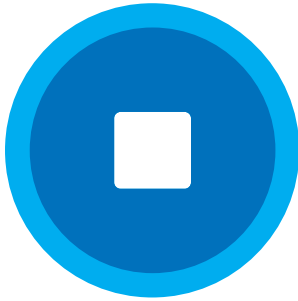
2007年 月 日

国立大学法人東京学芸大学

「東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ金融教育共同研究プロジェクト」行

FAX：042-329-7128

郵 送：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1



公開講座(京都)／教育現場でしましょうお金のはなし

「これからの金融教育」

金融教育共同研究プロジェクト

参加申込書

参加申込締め切り日：7月27日(金)



お申し込み者

勤務先・所属

役職名

担当学年・教科等

氏名

連絡先

勤務先

自宅

住所 〒□□□-□□□□

TEL

FAX

E-Mail

【お知らせ】

お送りいただいた個人情報は、当公開講座関係事務以外に使用することはありません。